

Mariko Senju

Eugène Ysaÿe: Sonatas for Violin Solo op.27 "Complete"



イザイ

無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ op.27

第1番 ト短調
第2番 イ短調
第4番 ホ短調

第3番 ニ短調 「バラード」
第5番 ト長調
未完 ハ長調
第6番 ホ長調

2024. 12/22 日

2:00PM開演 (1:30PM開場)

A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院小ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22

阪急西宮北口駅南改札口スグ/1駅西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

7/28 日

芸術文化センターチケットオフィス

☎ 0798-68-0255

(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は7/30(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

7/25 木

※未就学児童はご入場いただけません。

※やむを得ない事情により、
内容等が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。

© Kiyotaka Saito (SCOPE)

千住真理子

イザイ無伴奏ソナタ全曲

完全版
演奏会

デビュー
50周年
特別企画

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター



関西から
文化力
HYOGO CULTURE

2025年にデビュー50周年を迎えるヴァイオリニスト千住真理子。
ストラディヴァリウスの中でも最高傑作といわれる「デュランティ」とともに、
再びイザイに挑戦する。

12才でデビュー。天才少女と話題となり名実ともに日本を代表する
ヴァイオリニストとなった千住だが、挫折と絶望に苦しんだ時期があった。
そんな時、人間の悲哀を音にするイザイの無伴奏ソナタに救われたという。
以来、ライフワークとして取り組んできた作品だ。

今回は、近年新たに見つけた未完のソナタを含めた完全版でお届けする。



2015年1月 千住真理子 デビュー 40周年
イザイ無伴奏全曲演奏会
神戸女学院小ホール

イザイの魅力、
それは人間くささ。
声にならない心の叫び。
イザイという芸術家の悲しみと嘆きがこの無伴奏作品に詰まっている。
崇高なるバッハの対岸に立ち尽くす孤高の姿が私は愛おしい。

2025年にデビュー50周年を迎える私は今、そのプレ・リサイタルに、イザイ全曲演奏を決めた。
激しく怒り、泣きわめき、絶望の中孤独に心を閉ざす独り言のようなイザイの語りに、私はたまらなく魅力を感じるのだ。
バッハを見つめながらかきあげた6曲の無伴奏ソナタは6面体の全く異なる個性からなる。
それに加え、最近見つけた未完成作品をこの日加えて、完全版のイザイ全曲無伴奏ソナタを演奏する。
どっぷりと、深淵イザイに浸かっていたきたい。

千住真理子 *Mariko Senju*

千住 真理子

Mariko Senju, Violin



2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モビル音楽賞奨励賞各賞受賞。
1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&パルティータ全曲「平和への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。2019年はベートーヴェン生誕250周年に先駆け、ピアニストの横山幸雄と「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.1」をリリース。2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」〈完全版〉を再リリース。春には「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集 Vol.2」をリリースした。またデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。

2021年「螢の光〜ピースフル・メロディ」2022年「ポエジー」をリリース。2023年公開、山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」の音楽を兄の千住明が担当、テーマ曲を演奏し話題になる。11月には千住明のプロデュースにより「ARIAS」をリリース。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」（いずれも時事通信社）「ヴァイオリニスト20の哲学」（ヤマハミュージックメディア）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）「命の往復書簡2011〜2013」（文藝春秋社）「千住家、母娘の往復書簡」（文藝春秋社文春文庫）など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://marikosenju.com/>

便利なアクセス!!

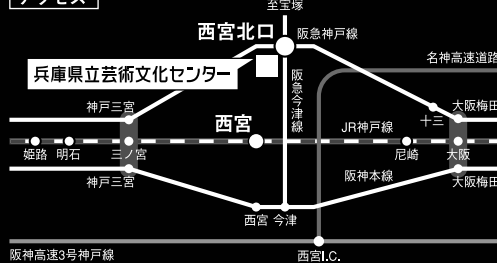
大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら

